



みなさまこんにちは！暑い夏が終わり、朝夕の冷え込みに深まる秋を感じる季節となりました。秋はまた「食欲の秋」、美味しいものをたくさん食べたいところですが、健康を考えると食べすぎには注意が必要です。今回は当センターが新しく取り組み始めた訪問栄養指導の紹介と、病院連携室、包括支援センターの紹介をさせていただきます。

訪問栄養指導 始めます！

在宅療養高齢者の約7割に「低栄養または低栄養のおそれ」がある

人生において食べることは楽しみであり、体をつくる源です。ですが、高齢になると「食事量の変化」「調理意欲の低下」「食生活への間違った認識」などから低栄養になっている方が多くいます。また、奈良市の調査では、後期高齢者の低栄養傾向(BMI20未満)が全国平均を上回っているという結果もありました。特に在宅療養高齢者の方には注意が必要ですが、医師や支援者から、「病気に対して治療やリハビリができて、食事や栄養についてはなかなか関わることができないので、栄養士にアドバイスしてもらえたら・・・」といったご意見があり、当センターでは今年4月に在宅栄養プロジェクトを立ち上げました。



【6/23 訪問栄養指導講習会を開催】
管理栄養士を対象に、訪問栄養指導を実践している豊田氏(認定栄養ケアステーションDRD)から実際を学びました。



【お試し訪問栄養指導】
8月～試験的に管理栄養士が主治医やケアマネジャー等と連携し訪問栄養指導を行っています。

令和6年度から本格始動！
訪問栄養指導でできること

奈良市総合医療
検査センター
(メディカルなら)の

- 食欲がなく、食事量が減ってきている。急にやせてきた。
それぞれに適した食材や食事量などをご提案します。
- 食事の管理がうまくいかない。
糖尿病、腎臓病等の食事療法について、食べられる方の嗜好に合わせ、食事を楽しんでいただけるように提案します。
- 食べたり飲んだりするとムせてしまう。水分がうまくとれない。
飲み込む力に合わせた食事の調理方法をご提案し、誤嚥性肺炎のリスクを減らします。
- 退院後の食事をどうしたらいいのかよく分からない。
配慮しなければいけない食品や適切な調理方法をご提案します。

<対象となる方>

- ・介護保険の要支援、要介護認定を受けており、通院が困難な方
 - ・治療のために特別な食事管理が必要な方
- ※居宅療養管理指導で行います。

令和5年度 奈良市多職種全体研修会

日時：令和6年2月3日(土)14:30～17:00
場所：奈良市役所 正庁【定員200名】
テーマ：「多職種で支えるその人らしい暮らし
～在宅での口腔と栄養管理～」

講演は、守上 佳樹 先生(よしき往診クリニック)に、その後医師、歯科医師、管理栄養士、言語聴覚士、ケアマネジャーによるシンポジウムを行います。ささやかながらお茶とお菓子をご用意してお待ちしております。詳細は後日ご案内いたしますが、ぜひともご都合をつけていただけますと幸いです。

第8回MCSによる災害時模擬訓練 を実施します。

令和5年11月6日(月)

介護事業所のBCP策定が来年4月から義務化になります。情報共有の一つのツールとして「奈良あんしんネット」に是非ご登録ください。



★ 連携ニュースレターは、当センターHP
お知らせコーナーに掲載しています。
<http://nara.med.or.jp/nara-city/>





病院紹介コーナー

おかたに病院
患者支援課



おかたに病院の経営理念は「年をとっても、障害を持って、住み慣れた地域でなじみの人にかこまれ、最期まで人としての尊厳をもってすごしたい。このような当たり前の地域の人々の要求を支え、実現すること」です。急性期、回復期リハビリテーション、地域包括ケアの各病棟と透析室を有し、訪問診療も行っています。また今年は緩和ケア病棟が開設され、地域のニーズに幅広く対応できるよう取り組んでいます。そのような中、患者支援課では、入院相談や退院支援、社会資源の紹介や経済的な相談など、おかたに病院に通院、入院される患者さま・家族さまのサポートを側面から行っています。私たちは専門職として患者さま・家族さまへの質の高い支援を目指すために、支え合い育ち合う取り組みを行っています。そのほんの一部ですが、紹介したいと思います。

その1 私たちが考えるめんどみのある良い病院について話し合い、『めんどみのある良い病院 患者支援課5か条』を作りました。スタッフは社会福祉士、看護師、事務員と様々ですが職種に関係なく5か条を目指し一丸となって頑張っています。

その2 患者支援課内でより良い関係のなか自信を持って楽しく仕事ができるよう昨年は「いいとこ川柳」という承認企画をしました。

- 1 権利を守ります
ご本人が不利益にならないように、権利を守ります
- 2 お聴きします
傾聴を大切にし、ご本人に寄り添います
- 3 お伝えします
必要な情報を分かりやすくお伝えします
社会に問題提議します
- 4 連携します
ご本人が安心していただけるよう、院内や各専門機関とよりよい連携を大切にします
- 5 学び続けます
1〜4を実践し支援者自らが支援に自信をもち楽しく仕事ができるよう支え合い育ち合います



川柳紹介

- ①広い視野 大きな器 深い愛
- ②突き進む ポジティブパワフル
愛されキャラ

患者支援課内に全員の川柳が飾ってあります。いつも電話でのやりとりが多いですが、よろしければ答え合わせがてら、患者支援課にも足を運んでくださると嬉しいです。



包括紹介コーナー

奈良市北部地域包括支援センター



奈良市北部地域包括支援センターは、まちびらき50周年を迎えた奈良と京都を跨ぐ平城・相楽ニュータウンの平城地区(ならやま・朱雀・左京・佐保台小学校区)を担当しています。この地区は、近鉄高の原駅を中心として、UR都市機構が運営する大規模団地群と一戸建てが混在した町で、高齢化率は約33%と奈良市平均を上回っています。また団地、戸建てを問わず、一人暮らし高齢者が増えています。

当センターでは、ますます高齢化が進む中で、地域の高齢者の皆様が安心して暮らせるまちづくりを、様々な機関と協力しながら取り組んでいます。特に最近では、複雑化した相談内容が増えています。高齢者課題だけでなく、幅の広い相談支援を展開していくために、地域にある障害、子育て、就労支援を行う福祉事業所、そして企業等と「北部総合相談支援ネットワーク」を立上げ、どんな相談内容でもワンストップで受け止められる仕組みの構築に取り組んでいます。それ以外にも、地域の皆様と一緒に、介護予防の啓発や自主グループ立上げ支援を行っています。

また今後、認知症高齢者が増えていく上で、地域の皆様に認知症を正しく理解して頂く取り組みも継続的に実施しています。これからも、地域に住む皆様と一緒に、住みよい平城ニュータウンを目指して頑張っていきたいと思ひます。

